

昭和十一年中ニ於ケル在留邦人ノ特種婦女ノ狀況及其ノ取締（在上
海總領事館警察署沿革誌ニ依ル）

藝伎伎

昭和十一年末現在ニ於ケル料理店兼置屋數二十四軒藝伎伎ノ數百四
十五名ニシテ前年ニ比シ軒數ニ於テ増減ナキモ藝伎伎十名減少シ又
藝伎伎ノ總揚高ニ於テ昭和十年ノ三十六萬八千七百八三弗ニ對シ昭和
十一年ハ三十四萬三千七十四弗ニシテ前年ニ比シ二萬五千六百三
十四弗ノ減少ヲ示セリ然ルニ日支經濟提携問題ノ擡頭生産物價ノ
漸騰等ニ由リ紡績其ノ他商社方面ノ取引活況ヲ呈シ十一日以來ハ
此等花街方面ニモ影響シ頓ニ好況時代ヲ現出スルニ至レリ藝伎伎ノ
大部分ハ家計不如意ニ因ル者又ハ幼少ヨリ仕込トシテ抱ヘラルル

者等ニシテ教育程度低キモ近時社會狀勢又ハ國民思想ノ變遷及接客ガ比較的上層階級ニ屬スル等ノ關係上相當常識ニ長ク且契約年期滿了後再契約ヲ爲ス者稀ニシテ進ンデ他ノ正業ニ就カントスル者漸次増加ノ傾向アルト共ニ各營業主ニアリテハ之ガ爲新伎伎抱入ニ相當腐心シ居ル狀況ニアリ當館ニ於テハ右料理店兼置屋ニ對シテハ保安風俗衛生上ノ取締ヲ勵行シ居ル外新規營業主及稼業者ノ漸減策ヲ講ジツツアリ

ニ酌婦

昭和十一年末現在ニ於テ（海軍慰安所タル料理店三軒ヲ含ム）ノ數ハ十軒酌婦數百三十一名（内内地人百二名ハ朝鮮人二十九名）アリテ内料理店三軒ハ居留邦人ヲ顧客ト爲シ他ノ七軒ハ海軍下士

兵ヲ専門トシテ絶對ニ地方客ニ接セシメズ且酌婦ノ健康診斷モ陸
戰隊員及當館警察官吏立會ノ上毎週二回専門醫ヲシテ施行シアル
ノ外慰安所ニ對シテハ海軍側トモ協調取締ヲ嚴ニシ且新規開業ヲ
許サザルコトトセリ此等稼業者ハ孰レモ教育程度低キモ既往數年
前ニ比シ品性常識共ニ幾分向上シツツアルヲ認メラルルト同時ニ
女給「ダンサー」又ハ他ニ轉向セントスル者漸次増加ノ傾向ニ在
リ一方抱入ニ付テハ前借ヲ認メズ稼高ノ折半契約方ヲ命令シ居ル
モ事實上ノ娼妓稼業ト見ラルル本業ハ抱入ニ際シ幾分ノ前借アル
ヲ免レズ又此等ノモ者ニシテ時ニ自由廢業等ノ申出ヲ爲ス者等ア
リテ其ノ都度臨機ノ措置ヲ講ゼリ